

みずほCustomer Desk Report 2022/07/11 号 (As of 2022/07/08)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	136.07
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	135.95	1.0169	138.24	1.2025	0.6849
SYD-NY High	136.56	1.0191	138.69	1.2055	0.6873
SYD-NY Low	135.33	1.0072	136.88	1.1920	0.6792
NY 5:00 PM	136.13	1.0186	138.60	1.2032	0.6856
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	31,338.15	▲ 46.40	日本2年債	▲0.0700%	0.0000%
NASDAQ	11,635.31	13.96	日本10年債	0.2400%	0.0000%
S&P	3,899.38	▲ 3.24	米国2年債	3.1016%	0.0782%
日経平均	26,517.19	26.66	米国5年債	3.1208%	0.0838%
TOPIX	1,887.43	5.10	米国10年債	3.0794%	0.0802%
シゴ日経先物	26,815.00	125.00	独10年債	1.3435%	0.0550%
ロンドンFT	7,196.24	7.16	英10年債	2.2310%	0.1045%
DAX	13,015.23	172.01	豪10年債	3.4880%	0.0090%
ハンセン指数	21,725.78	82.20	USDJPY 1M Vol	11.48%	▲0.35%
上海総合	3,356.08	▲ 8.32	USDJPY 3M Vol	11.39%	▲0.40%
NY金	1,742.30	2.60	USDJPY 6M Vol	11.13%	▲0.23%
WTI	104.79	2.06	USDJPY 1M 25RR	▲1.40%	Yen Call Over
CRB指数	287.75	2.67	EURJPY 3M Vol	13.19%	▲0.28%
ドルインデックス	107.01	▲ 0.12	EURJPY 6M Vol	12.91%	▲0.15%

東京	東京時間のドル円は135.95レベルでオープン。日経平均株価が堅調に推移する中、ドル円は136.15まで上昇したものの、仲値にかけてドル売り優勢となり、135.80円台まで下落。お昼前に安倍元首相が演説中に倒れるとのヘッドラインが出ると、リスク回避の円買いからドル円は135.60円台まで急落。その後は少し値を戻したものの、心肺停止との報道を受けてドル円は135.33まで下落幅を拡大させた。その後は135円台半ばを中心とした神経質な展開が続き、結局ドル円は135.67レベルで海外時間へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は135.67レベルでオープンし、午後に米6月の雇用統計を控えて方向感が出にくい展開となった。売り買いが交錯し、135.83レベルNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は安倍元首相のニュースを受けたリスク回避の円買いが強まり、135.33まで下落したがその後はユーロ売りドル買いが強まる展開に135.98まで戻し、135.83レベルでNYオープン。朝方は注目の米6月雇用統計で非農業部門雇用者数が予想を大きく上回り、失業率も引き続き3.6%と低水準で、平均時給(前月比)もヘッドラインは予想と一致したものの、前回分が上方修正されたこともあり、一気に米金利が急伸する動きを受けドル買いが強まると136.56まで上伸した。その後はボスティック・アトランタ連銀総裁が75bpの利上げに全面的に支持との発言が伝わるがドル円の反応は限定的となるが、それ以降はデータ次第との発言もあり、徐々に利益確定の売りに135.87まで反落する。午後は週末を控え136.10付近での動意の無い推移が続き136.13レベルでクロスした。一方、引き続き軟調な推移が続くユーロドルは、海外市場で昨日の安値1.0145を抜けるとストップを巻き込み1.0072まで下落するが、1.0073はチャートポイントとして意識されていたことや、このレベルではユーロの買い推奨もあり、急速に戻し1.0150レベルでNYオープン。朝方は米雇用統計結果を受けたドル買いに1.0116まで下落するが、米セッション懸念後退を受けユーロ円が買われる動きにユーロドルも1.0191まで戻す。午後は一旦1.0160まで下落するが終盤に掛けてじり高で推移し、1.0186レベルでクロスした。

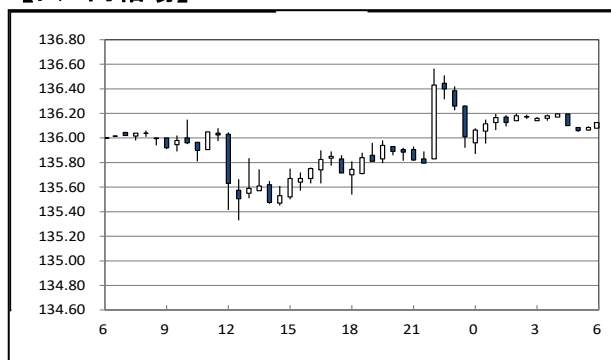
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月8日	21:30	米 非農業部門雇用者数変化	6月 372k	265k
	21:30	米 失業率	6月 3.6%	3.6%
	21:30	米 平均時給(前月比/前年比)	6月 0.3%/5.1%	0.3%/5%
7月9日	00:00	米 ボスティック・アトランタ連銀総裁 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演	「7月75bp利上げを全面支持」 「FF金利は年末までに3.5%に到達する必要がある」	
	10:30	中 CPI(前年比)	6月 2.5%	2.4%

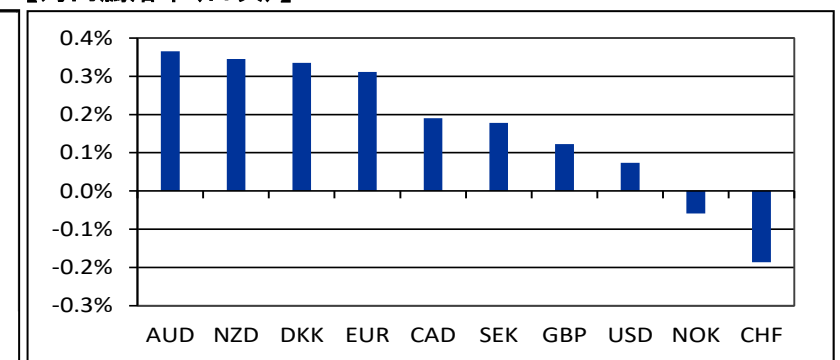
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月11日	日	黒田日銀総裁挨拶	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	135.30-137.20	1.0100-1.0260	137.50-139.50

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日の東京時間ドル円は135.95レベルでオープン。安倍元首相が演説中に倒れるとのヘッドラインが出ると、リスク回避の円買いが強まり一時135.33まで下落した後、135.67レベルで海外時間へ渡った。米国時間で米6月雇用統計における非農業部門雇用者数が予想を大きく上回るなどの結果を受けドル買いが強まり、136.56まで上伸。買い一巡後は下落に転じるも底堅く推移し、136.13レベルでクロスした。

本日のドル円は堅調推移を予想する。米6月雇用統計の市場予想を上回る結果に米経済の強さが確認されたことに加え、アトランタ連銀ボスティック総裁による「75bpの利上げを全面的に支持」との発言もあり、ドル買い優勢の流れが継続するだろう。また本日は日銀黒田総裁のあいさつも控えており、現行の金融緩和スタンスの維持に関する言及があれば、ドル円には上昇圧力が強まりやすいか。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 多川・松木